



# CSR報告書

# 2010



品質



マネジメント



社会



環境

## 編集方針

不二家は、2003年から毎年「環境報告書」を作成し、環境問題への取り組みや考え方をご報告してまいりました。そして、2008年から、より広く企業の社会的な活動を報告することが企業が果たすべきCSR(企業の社会的責任)であるという考えのもと、「CSR報告書」としてまとめております。

本報告書では不二家のCSR活動を「品質」「マネジメント」「社会」「環境」の4項目にまとめ、それぞれ具体的にどのような取り組みを行っているかのご報告をしています。

### 報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

尚、環境報告部分の環境データにつきましては、ISO14001の規格に基づいて活動をしている製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のデータを収集・記載しています。

製造6工場のISO14001 認証取得年月と環境負荷データ集計対象工場

	ISO14001 認証取得年月	環境負荷データ集計対象工場						
		2003年 (109期)	2004年 (110期)	2005年 (111期)	2006年 (112期)	2007年 (113期)	2008年 (114期)	2009年 (115期)
菓子	秦野工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○
	平塚工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○
	富士裾野工場	2001年4月	○	○	○	○	○	○
洋菓子	野木工場	2003年 4月	○	○	○	○	○	○
	埼玉工場	2004年10月	-	○	○	○	○	○
	泉佐野工場	2006年10月	-	-	-	○	○	○

### 報告対象期間

2009年4月～2010年3月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

### 発行年月

2010年9月

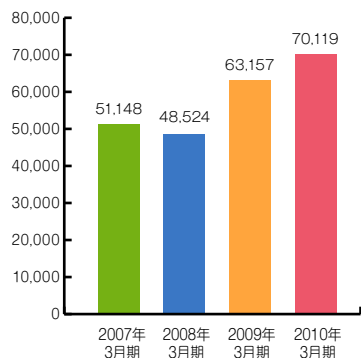
## Contents

編集方針	..... P 2	企業理念	..... P 6
会社概要	..... P 3	不二家とステークホルダー・CSR推進方針	..... P 7
トップメッセージ	..... P 4		
創業100周年	..... P 5		
<b>品質</b>			
安全・安心のために	..... P 8		
<b>マネジメント</b>			
コーポレートガバナンスと内部統制	..... P14	リスクマネジメント・セキュリティ	..... P16
コンプライアンス	..... P15	5S活動による人作り(生産現場管理者等研修)	..... P17
<b>社会</b>			
お客様とともに	..... P18	従業員とともに	..... P23
株主・投資家の皆様とともに	..... P22	不二家ファミリー文化研究所	..... P27
<b>環境</b>			
環境方針／環境マネジメント	..... P29	環境保全活動	..... P31
事業活動のマテリアルバランス	..... P30		
不二家のあゆみ	..... P36		

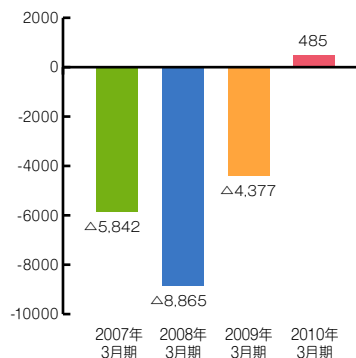
# 会社概要 (2010年3月31日現在)

<b>社名(商号)</b>	株式会社不二家
<b>本店所在地</b>	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
<b>代表者</b>	取締役会長 山田憲典 取締役社長 櫻井康文
<b>創業</b>	1910年(明治43年)11月
<b>設立年月日</b>	1938年(昭和13年)6月
<b>資本金</b>	18,280百万円
<b>従業員数</b>	正社員983名
<b>主要関係会社</b>	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャパン株式会社、株式会社ユトリア不二家、B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社、株式会社スーパーハイウェイ、日本食材株式会社、不二家サンヨー株式会社、不二家乳業株式会社、不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター、不二家テクノ株式会社
<b>営業部・支店</b>	東京、大阪、愛知、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
<b>店舗</b>	銀座、渋谷、横浜、名古屋、大阪、博多、札幌など全国の主要地
<b>工場</b>	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)

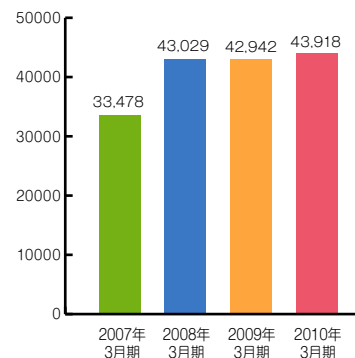
単体売上高(単位:百万円)



単体経常利益(単位:百万円)



総資産(単位:百万円)



## 事業内容

洋菓子事業	菓子事業	食品事業
ケーキ、ベーカリー、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営	チョコレート、キャンディ、焼菓子、菓子などの製造販売	飲料及び乳製品など食品の製造販売

※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイト(以下「ホームページ」といいます)にてご覧いただけます。  
不二家ホームページURL <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

## 不動産事業

業務内容：不動産の賃貸、管理など

## トップメッセージ

### 次の100年を見据えて～

愛と誠心と感謝をこめて、お客様に愛される不二家になります。

#### 創業100周年を迎えて

2010年、不二家はおかげさまで創業100周年を迎えました。  
これもひとえに、皆様方の温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

不二家は1910年の創業以来、常に「家族の幸せ」に貢献する企業であろうと努め、お菓子を通じて家族の団欒の場を作るお手伝いをしてまいりました。

それは良質な商品を、手頃な価格で提供し、日本における洋菓子、洋食の大衆化に貢献してきた歴史でもあります。そのなかで洋菓子商品以外にも、ミルクィー、ルック、カントリーマアムというロングセラーブランドが生まれ、国民の人気キャラクターのペコちゃんも誕生しました。

不二家は、これまでの100年間で築き上げてきたものを、これからも世代を超えてお客様にご愛顧いただけるよう、本年を新しい100年に向けてのスタートの年としております。

創業の原点に立ち返りながら、「家族の幸せ」に貢献する新しい価値を創造する企業であり続けられるよう、努めてまいります。

#### 不二家の果たすべき責任

不二家のCSR活動は、本業を通じて社会に貢献し、社会と当社が持続的に発展することを目指しております。

法令遵守はもちろんのこと、食品を扱う企業の一員として、「食の安全・安心」の確保は当然の責務です。従業員ひとりひとりがその責任の重さを自覚し、自ら考え自ら行動すべく、コンプライアンス教育をはじめとした全社での取り組みを継続してまいります。

また、次の世代に、この美しい地球環境を残し、つなげていくことも、不二家の果たすべき責任の1つであると考えております。2009年度の不二家製造6工場の食品リサイクル率は97.7%となり、平塚工場及び富士裾野工場では、食品リサイクル率100%を達成する月もありました。すぐに成果が出ることではないかもしれませんが、しかし、「私たちに今何ができるのか」を常に考え続け、今後も環境活動に取り組んでまいります。

すべてを、「おかあさんの気持ち」で『ベストクオリティ・ベストサービス』を提供します。

これが不二家が掲げるミッションです。

おかあさんが家族に向けるような「思いやり」「やさしさ」を、全てのステークホルダーの皆様に対しても持ち続け、CSR活動を積極的に行ってまいります。

本報告書を通じて、不二家のCSR活動への取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

代表取締役社長

櫻井康文





# 創業100周年

## 皆様への感謝を込めて 創業100周年事業のご紹介

2010年、不二家は創業100周年及びペコちゃん生誕60周年を迎えます。  
お客様をはじめとする、不二家を支えてくださった全ての皆様への感謝の気持ちを込め、さまざまな100周年事業を展開してまいります。



100周年記念ロゴマーク

### ペコちゃんスマイルコンテスト (2010年5月～8月開催)

「幸せひろがる笑顔のチカラ」をテーマに、皆様より「スマイル」を募集。創業初の試みとなるリアル「ペコちゃん&ポコちゃん」を決める公開審査を8月24日に開催しました。



### 「ハートフル・コンサート2010」協賛 (2010年8月15日)

8月15日に開催された東京フィルハーモニー交響楽団主催の「ハートフル・コンサート」に、本年初めて協賛しました。このコンサートは平和を願うコンサートとして幅広い年代から支持されています。



### 「ペコちゃんの歌」 (2010年8月30日発表)



「おやつ時間をペコちゃんと一緒に楽しむ歌」をコンセプトにした歌を発表しました。

作曲は久石謙氏を起用し、歌は森高千里氏を起用しました。

◀久石 謙 氏

### ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊 (2010年9月～10月実施)



永年のご愛顧への感謝と、未来を担うお子様の健やかな成長への願いを込めて、「不二家キャラバン隊」が児童施設を訪問します。

### 「おしゃべりペコちゃん人形」 プレゼントキャンペーン (2010年9月～11月実施)



ペコちゃん生誕60周年を記念し、「おしゃべりペコちゃん人形プレゼントキャンペーン」を実施しています。

### 「ペコちゃんワールド」 (2010年11月発売)

「ペコちゃんがいっぱいの本」をテーマにした「ペコちゃんワールド」を発売します。(銀座ペコちゃんミュージアム及び不二家洋菓子店舗にて販売予定)



### 銀座ペコちゃんミュージアム (2010年11月上旬～中旬)

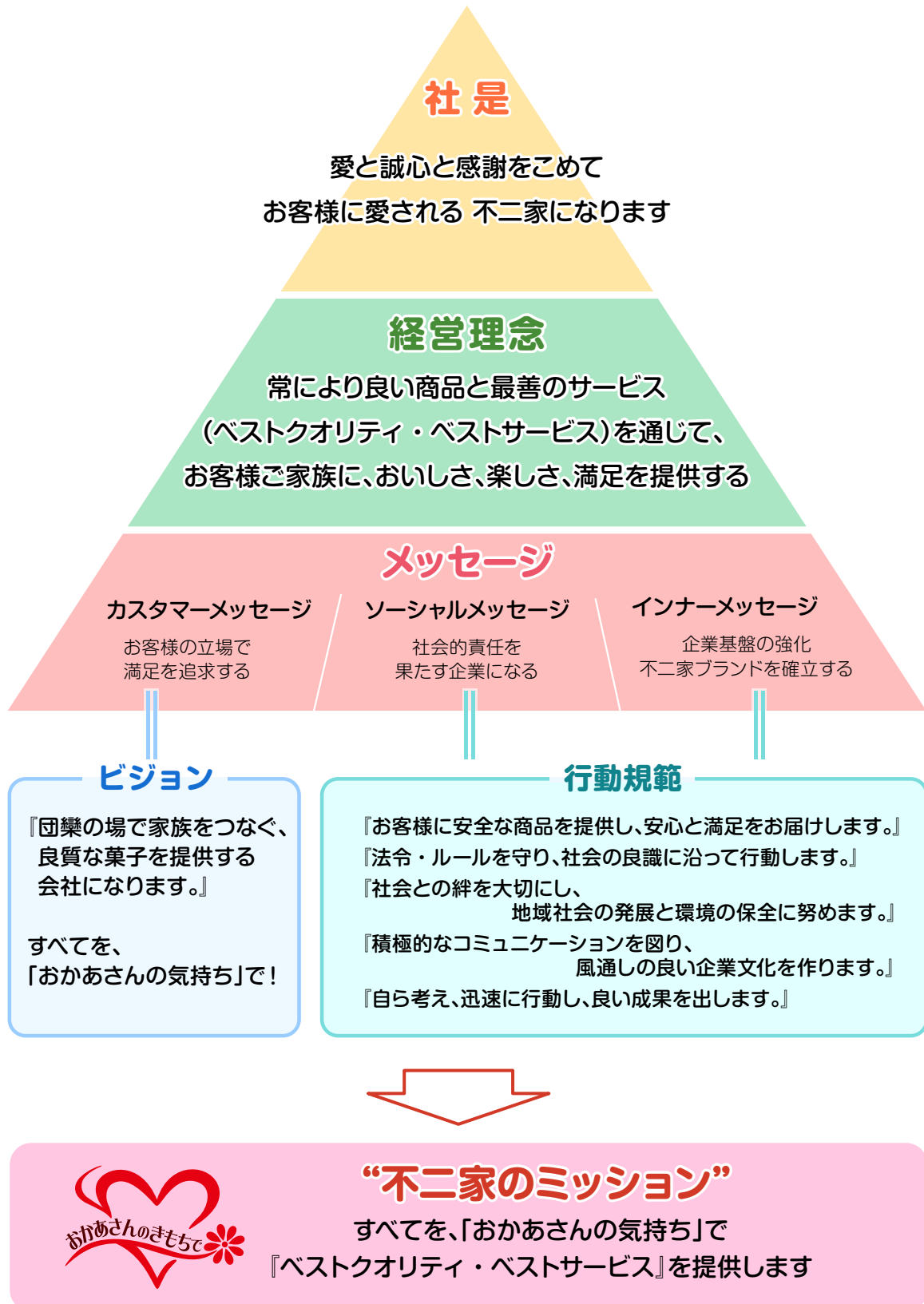
2009年、期間限定で開催した同ミュージアムを、本年はさらに趣向を凝らし、11月上旬から中旬に期間限定で開催します。

歴代のペコちゃん人形の展示やグッズ販売のほか、本年は、お客様とお話ができる「おしゃべりするペコちゃんロボット(仮称)」も新たに登場します。 ※写真は2009年開催時の様子です



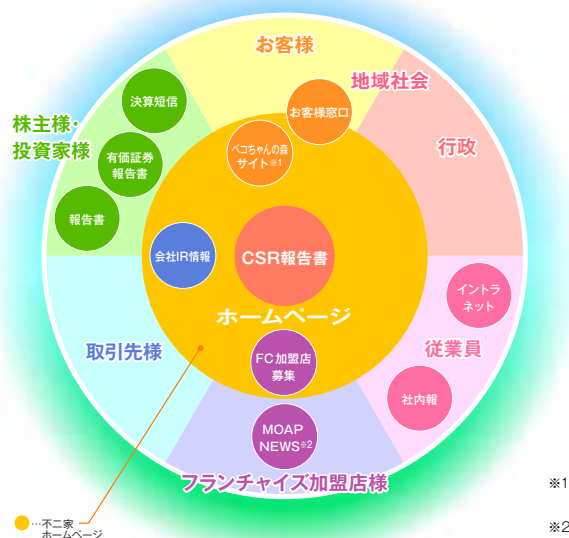
# 企業理念

不二家の企業理念や、未来に向けたビジョン、ミッションをご紹介します。



# 不二家とステークホルダー

不二家は企業活動を通じて関わる、社外・社内のさまざまなステークホルダーの皆様の期待に応え、信頼関係を構築するために、ホームページを中心とした各種ツールを活用し情報発信をしています。



※1 ベコちゃんの森サイト：不二家ファミリー文化研究所が運営するウェブサイト。詳細は、P27をご覧ください。

※2 MOAPNEWS：商品案内や販促計画のお知らせ。

## お客様・地域社会

常により良い商品と最善のサービス、お客様との双方向のコミュニケーション、また、さまざまなお要望・ご指摘への速やかな対応を通じて、お客様との信頼関係の構築に努めます。

## 行政

適時・適正に情報を開示し、良好な関係を維持します。

## 株主様・投資家様

積極的な情報開示を行い、企業価値向上に努め、株主様の期待に応えていきます。

## 取引先様

公正で透明な取引を行い、情報の共有化を図るなど、ともに企業の発展を目指します。

## フランチャイズ加盟店様

パートナーとしての信頼関係のもと、共存共栄を継続します。

## 従業員

従業員ひとりひとりが能力を発揮できる労働環境を整備し、人材を大切にします。

# CSR推進方針

## 不二家のCSR

不二家のCSRは、コンプライアンスはもちろんのこと、本業を通じてお客様に安全・安心な商品と最善のサービスを提供すること、適切な情報開示及び環境問題などへの取り組みを通じてステークホルダーの期待に応えていくことだと考えています。

不二家は、CSR活動を推進し企業価値を高めていくために掲げた、「品質」「マネジメント」「社会」「環境」の4つの項目に積極的に取り組んでまいります。健全な経営を継続することで企業価値向上を目指し、社会から信頼される良識ある企業として責任を果たしてまいります。

### ● CSR推進体制

CSR活動を強力にサポートするために、社長直轄組織である「CSR推進部」を設置し、この中に「コンプライアンス室」「広報室」「不二家ファミリー文化研究所」を配置、関連部門と連携しながら活動を推進しています。「コンプライアンス室」は、従業員が高い倫理観を持ち、社会の要請に柔軟に応じていく風土を醸成するために、継続的にコンプライアンス教育を行っています。「広報室」は、迅速で公正・公平な情報開示を通じて経営の透明性を高め、社内外に適切な情報を提供しています。「不二家ファミリー文化研究所」では、お客様とのふれあいの場を持つための各種イベント(コミュニケーション)や、食育・環境への取り組みを行っています。

# 1. 品質

P8 安全・安心のために

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全・安心な品質のうえに成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。



## 安全・安心のために

### 品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めています。

第一に、科学的根拠に立脚したAIBやISO9001といった食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。

さらに、現場に即した「本物の5S活動」により、より安全で衛生的な環境作りを行っています。

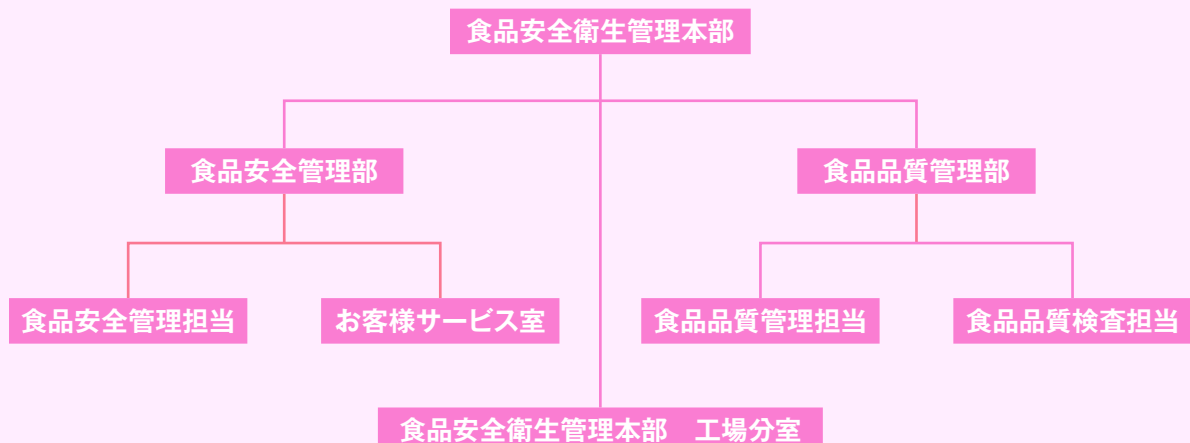
食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」と「食品品質管理部」の2部門に編成し、組織強化を図っています。

また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の充実、人員の強化を行っています。



食品衛生教育の様子

食品安全衛生管理本部組織図



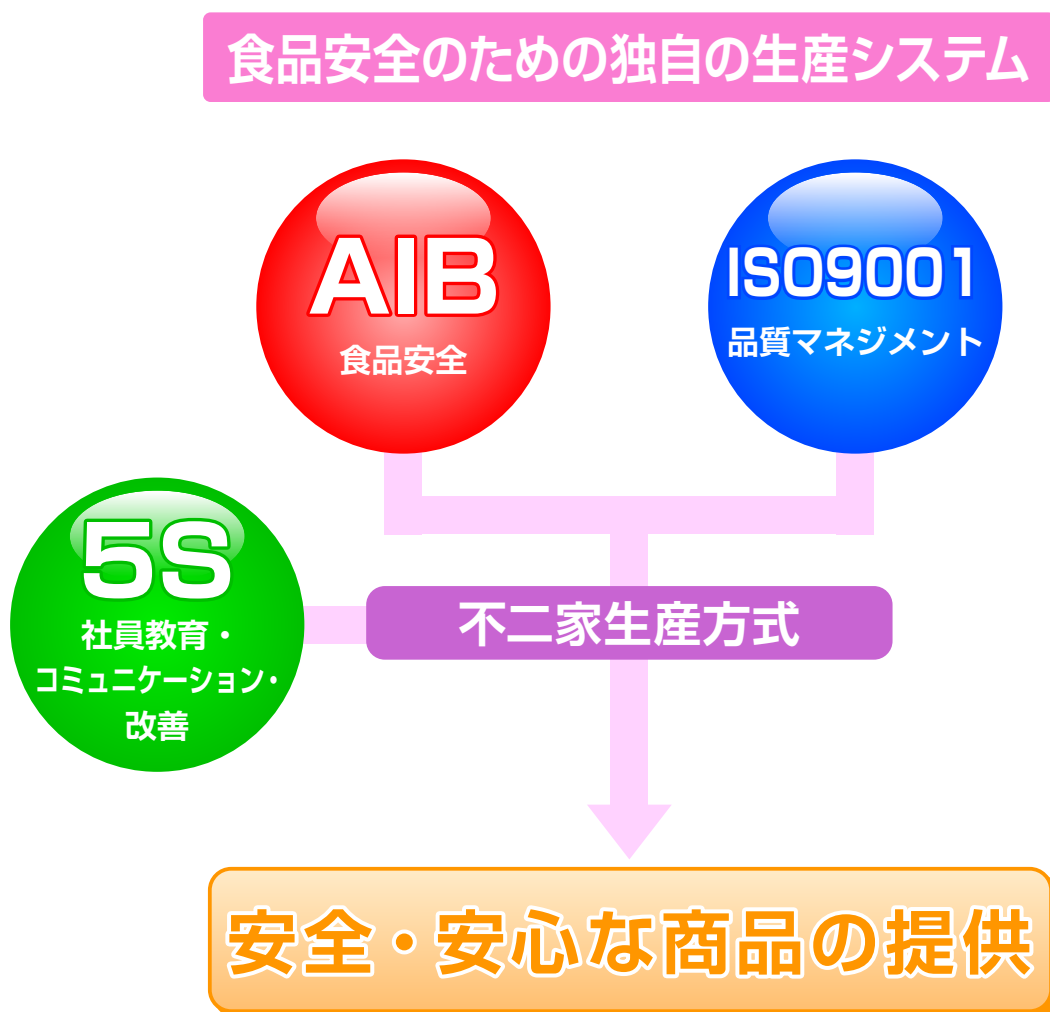


## ▶ 食品安全のための独自の生産システム

不二家では食品安全を担保するために、経営陣の強い意志のもと次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB 国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②お客様満足の向上と製品・サービスの品質の維持・向上のための品質マネジメントシステムである「ISO9001:2008」の運用
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、1つの「不二家生産方式」として統合・機能すべく日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、食品安全の維持・向上に努めています。



## ▶ 不二家におけるAIB(American Institute of Baking) フードセーフティの取り組みについて

2007年2月より、洋菓子5工場、菓子3工場で、主要ラインを主体にAIBフードセーフティへの取り組みが始まりました。このAIBフードセーフティには、指導監査と本監査があります。指導監査では資格認定された第三者機関のAIB監査員が、工場での清掃活動を中心に、清掃が行き届いているか、異物混入の危険性と有害生物の生息が見られないかなどの観点から監査し、不都合が見られた場合にはその都度改善方法を指導します。

本監査では、同様な観点から監査を行い、点数制による評価を行います。5つのカテゴリー(①作業方法と従業員規範②食品安全のためのメンテナンス③清掃活動④総合的有害生物管理⑤前提条件と食品安全プログラムの妥当性)で各200点を持ち点に、減点方式による評価を行い、合計点数700点以上に合格が与えられます。

不二家では監査対象とした工場、ラインはすべて合格しました。

AIBフードセーフティ導入後も、各工場とも工場スタッフを中心とした自主検査チーム「食品安全委員会」が毎月1回以上の自主検査を行い、AIBシステムが適正に運営され、維持・向上されているかどうかを確認しています。そこで工場の管理体制の見直しと徹底を進めることにより、より高度な食品安全衛生管理体制が構築されます。また、2009年1月に基準の改定がなされてからは、さらに一歩進んだ基準に従いレベルアップを図っています。

今後も商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安全で安心な品質の商品をお届けするよう、継続的な取り組みを行ってまいります。



AIB自主監査の様子

### 監査の方法

清掃活動においてはGMP※1に則った活動が適切に行われているかを、プロダクトゾーン(製造ラインの両サイド2mと天井までの範囲)においては、異物混入防止対策、有害生物防除対策の実施状況を中心に、監査が行われます。

監査は、現場80%、書類20%で、ほとんどが現場での活動状況の確認ですが、必要な書類の審査もあります。

また、清掃には、「マスタークリーニングスケジュール」と呼ばれる清掃頻度を自ら決めたスケジュール表と、清掃手順書があり、それらに沿って清掃が行われているかの確認をしています。

#### ※1 GMP(Good Manufacturing Practice)

適正製造規範。従業員、設備、製造及び工程管理などについて策定されている。AIB国際検査統合基準※2はGMPを基準にして作成されている。

#### ※2 AIB国際検査統合基準(前提条件と食品安全プログラム)

AIB食品安全統合基準として8年が経過し、食品のグローバル化、フードテロの防止、新しい危害への対応を目的に2009年1月1日より「AIB食品安全統合基準」から「AIB国際検査統合基準(前提条件と食品安全プログラム)」へと改定されたものである。

## ▶ ISO9001 : 2008

不二家は2005年よりISO9001<sup>\*1</sup>品質マネジメントシステムを導入し、2006年6月に外部審査機関による審査で認証を取得しました。現在も、常に安全・安心な製品をお客様にお届けするため、品質方針<sup>\*2</sup>・目標を掲げ、その遵守または達成に向けて、内部監査(年2回)や製造現場を中心とした各職場での日々の問題発見と改善活動を継続しています。また、品質マネジメントシステムに関する活動の情報交換の場として、社長・各部門長出席のもとでQMS会議<sup>\*3</sup>を毎月開催しています。今後も、食の安全・安心とお客様満足の向上のため、継続的な改善活動を行っていきます。



ISO委員会の様子

※1 ISO9001適用範囲(2010年6月現在)

菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部  
[営業第一部、営業第二部、食品品質検査担当、食品安全衛生管理本部洋菓子工場分室は除く]

※2 品質方針

社長によって表明される不二家としての品質にかかわる全般的な方向付け

不二家 品質方針(2007年3月7日付)は以下の5項目からなる

- (1) 当社はお客様に満足いただける環境に配慮した安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) その為に、各種関連の法律を守り、品質マネジメントシステムを通じて安心・安全な品質保証体制を整備し確立します。
- (3) 作業ルールの遵守はもとより、開発、製造各段階の流れと責任を明確にして、クレームの未然防止と再発防止に努めます。
- (4) 品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を行います。
- (5) それらの実現の為に、風通しのよい企業風土作りに基づいて相互のコミュニケーションを密にし、組織体制の整備及び教育を実施してまいります。

※3 QMS(Quality Management System) 会議

品質管理責任者が、品質マネジメントシステムが有効に機能しているかをチェックするために、毎月1回及び必要に応じて開催する会議



富士裾野工場 キャンデー製造課 係長  
石井 信宏

お客様に愛される安全・安心な商品を作るためには、ひとりひとりが規則に忠実であることに加え、自分の仕事に対する「責任感」と、商品への「愛情」を持つことが大切だと考えます。私たちが商品に愛情を持って接することができなければ、「お客様に愛される商品」が生まれないと思うからです。

また私は、仲間とのコミュニケーションを大切にし、製造現場における問題点や改善点などがあれば、意見交換しすぐに対応できるような環境作りに、積極的に取り組んでいます。

私はこれからも、職場の仲間とともに、お客様に愛される安全・安心な商品作りに精進していきます。

## ▶ 本物の5S

### ●5Sによる安全で衛生的な職場環境作り

不二家では、全社の取り組みとして「全員参加による本物の5S活動」を推進しています。

工場従業員の3K(キケン、キツイ、キタナイ)や3M(ムリ、ムラ、ムダ)を取り除き、働きやすい職場環境、3A(安全・安心・安定)職場を作ることで、より良い製品を提供することができると考えています。働きやすい職場環境を自分たちの手で作り出すツールとして、5S活動を実践しています。

例えば、作業の際に手の上げ下げが重労働となっていたクリーム充填機の投入口の高さを調整し、身体への負担を軽減できるようにするなどの快善\*や、作業担当者の視点に立った物の配置をするなど、職場環境の見直しを行いました。

原材料倉庫については、「誰でもすぐにわかる物の置き方とは、物と場所それぞれに表示をして決めた場所に保管することである」という視点から快善を行いました。まず、使用頻度から配置場所を決め、配置図を入りに表示しました。さらに、より間違えることなくすぐに見つけるために、必要な物を必要な量だけ置くことにしました。1日当りの使用量と発注から納品までのリード日数を加味し、安全在庫数を算出することで在庫回転数を高め、よりフレッシュな原料を使って製品を作るよう努めています。

現在は、倉庫をフロントヤードとバックヤードに分け、1日の生産に必要な分のみフロントヤードに準備しています。

「本物の5S活動」1年目の狙いは、「気付き力」の養成にありました。変化に強い工場へ体質を変えていくとは、どのようなことなのか、5S活動の快善を通し理解を深めています。

※快善……従業員が生きがいや、やりがいを持って仕事ができるようにすることから、この文字を使用しています。



埼玉工場 製造課 班長  
竹内 とし子

この1年の取り組みで3K・3Mの作業が減り、「働きやすい職場」「見える化の職場」へと職場環境が快善され始めたと思います。工場実習に来た新入社員からも「新人従業員が働きやすい職場だ!」という声を聞き、とても嬉しいです。

埼玉工場にはまだまだ快善しなければならない問題がありますが、「誰かがやってくれる」から、「自分たちで快善する」という意識に変わってきたので、その意識が定着するようにサポートしていきたいと思います。

## ■ VOICE ■

この一年半、さまざまな問題を乗り越え5S活動に取り組んできました。その結果、誰でも、必要な時に「見える、わかる、できる」職場になりつつあります。

これからも、新人、ベテランと一緒に『今の状態がベストではない。もっと「楽に」「早く」「正確な」やり方があるはずだ!』をスローガンに、この活動を着実に進めていきます。全てはお客様のために。



埼玉工場 製造課 パイ・ワッフル係 係長 熊丸 泰次



## ▶「不二家食品安全の日」について

2007年1月11日。不二家は、社会並びに消費者の方々に多大なご迷惑をおかけし、食に対する不安を与えてしまいました。

不二家は、一連の問題を風化させず、恒常的に「食の安全・安心」に取り組んでいくために、毎年1月11日を「不二家食品安全の日」と定め、毎年1月に本社及び各事業所にて、式典や集会を行っています。

3回目を迎えた2010年の「不二家食品安全の日」の式典は、1月12日に、不二家本社にて開催されました。

式典では、会長の山田憲典、社長の櫻井康文の講話に加え、食品安全衛生管理本部から、「食品安全衛生管理本部の業務方針」が示されました。今年創業100周年を迎えた不二家が、次の100年もお客様に満足をご提供し続けるため、「重大事故の未然防止」「クレームの削減」「安全・安心な商品作り」を柱に、「食品安全の日」の活動を推進していく意志が伝えられました。

さらに今年は、雪印メグミルク株式会社の方をお招きし、講演をしていただきました。ご講演では、自分たちが起こした事件を過去の出来事として昔話にすることなく、常に教訓として伝承し続けることの大切さや、その反省に立って自分たちのスタンダードを外のものさしや、視点でチェックすることの必要性などについて、お話をいただきました。



食品安全衛生管理本部長 業務方針説明

### 山田講話内容

業績が向上してきた今だからこそ、他社の事例などを学びながら、不二家の食品安全衛生のレベルをさらに向上させること。そして、この「不二家食品安全の日」を機に、改めて社会の皆様の信頼を得られる企業にならなければいけないということを認識することが必要である。

### 櫻井講話内容

創業100周年にあたり、価値あるブランドを保持し、それを生かして成長していく会社であるだけでなく、安全衛生レベルの高い「強い会社」にしていきたい。また、「コンプライアンスと食品安全衛生でトップクラスの企業になる」という目標を全員が持ち続けることが重要である。

### ●食品安全の日(毎月11日)

このほかにも、恒常的に「食の安全・安心」に取り組んでいくために、毎月11日を「食品安全の日」と定め、さまざまな取り組みを行っています。

この日は、全工場で原料や製品の期限や各種チェック表の確認など、適正に管理、運用されているかを食品安全衛生管理本部を中心に社内第三者の目でチェックしています。また同時に、洋菓子店舗においても社員による店舗巡回を行い、品質管理、清掃状況、サービス状況などのチェックを行っています。



洋菓子店舗巡回の様子



食品安全衛生管理本部 埼玉工場分室  
島村 睦

新米ママの私は最近、「お母さんの在り方」について悩んでいました。育児の先輩である友達に相談したところ、「周りがどうであれ、子供に愛情が持てれば十分にママ」と言われ納得、私の悩みは軽くなりました。

工場で作られる製品に愛情を持つことはとても大切なことだと思います。しかし、「安全・安心な商品」をお客様に提供することは、愛情の有無以前に基本的なことだと思います。育児では「まあいいか」で済むことも多々ありますが、お客様には許されることではないと思います。

私は、仕事では「まあいいか」の気持ちを忘れ、「お母さんの気持ち」を持ちながらも厳しい視点を持つように心がけています。

# 2. マネジメント

- P14 コーポレートガバナンスと内部統制
- P15 コンプライアンス
- P16 リスクマネジメント・セキュリティ
- P17 5S活動による人作り  
(生産現場管理者等研修)



不二家は、企業の社会性の観点から、コーポレートガバナンスとコンプライアンスの強化・充実を優先課題と位置付け取り組んでいます。

また、実効性のある執行とその監督体制を作り上げるとともに、従業員ひとりひとりのコンプライアンス意識向上を図りながら、企業活動を行い、企業価値向上を目指しています。

## コーポレートガバナンスと内部統制

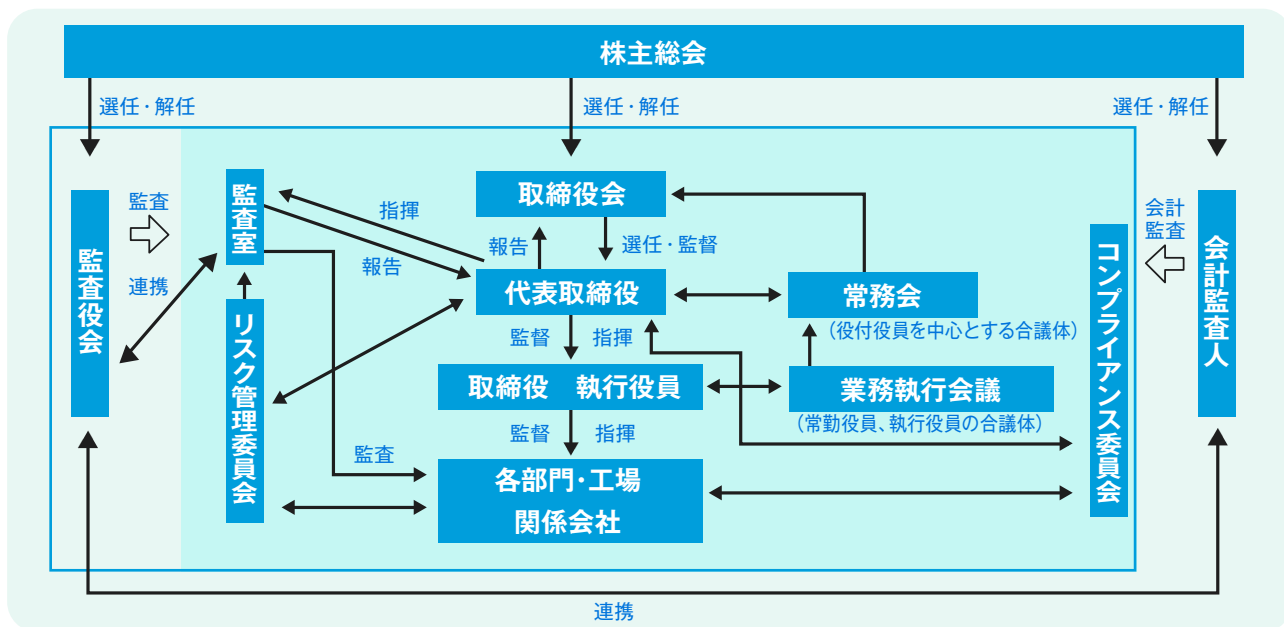
### ▶ コーポレートガバナンス

不二家は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性(コンプライアンス)・透明性(ディスクロージャー)の原則を守り、継続的に企業価値を向上させ、全てのステークホルダーから満足いただける魅力的な企業の実現を目指しています。

業務の適正さを堅持するために、取締役会・監査役制度を強化し、グループ全体のガバナンス体制を構築しています。

「取締役会」を経営意思の最高決定機関として位置付け、主要取締役による「常務会」と、取締役に加え執行役員も出席する「業務執行会議」、取締役以下部長以上の幹部社員に關係会社の代表を加えた「事業所長会議」を適時開催しています。これによりガバナンス強化とともに意思決定及び業務執行の迅速化を図っています。

また、關係会社の経営と業務推進の方針決定に資するため、不二家本体の経営陣と關係会社社長との協議機関として、關係会社経営報告会(社長会)を設置し、關係会社への監督・支援を実行しています。



### ▶ 2009年度内部統制システムの整備・運用状況

「企業は財務報告の虚偽記載リスクを減らし、ディスクロージャー制度の信頼性を確保する」。これが内部統制実施基準の狙いです。

内部統制報告制度適用2年目は、内部統制の整備・運用を見直し、計画に従ってレベルアップした体制を整えてきました。この内部統制制度は業務を見直す良い機会となり、今年度は売上拡大する洋菓子部門のOEM業務を新たに評価範囲に加え、財務報告に関わるリスクを洗い出し、運用面の自己点検や独立的評価も適正に実施いたしました。

今後とも、内部統制の有効性を確保することで、財務報告の信頼性をさらに高め、企業としての社会的責任を果たしていきます。

# コンプライアンス

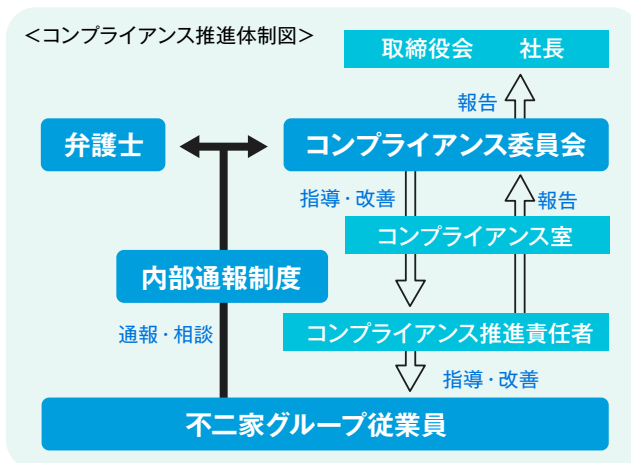
不二家はコンプライアンスをCSR活動の重要な基本部分と考えています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどまらず、社内規程(自分たちで決めたこと)を守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

## ▶ コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、管掌取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役会に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙活動を実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入するなど、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



## ▶ 内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令や行動規範に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員にコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、コンプライアンスの浸透にも努めています。

## ▶ 2009年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙を、企業価値向上のために欠くべからざる最重要課題と位置付け、従業員のコンプライアンス教育に継続的に取り組んでいます。

2009年度は、従業員のコンプライアンス意識の向上による会社統制のレベルアップを目的に、3月から7月にかけて、コンプライアンスビデオ研修や他社事例をまじえた教育を、合計62回、計約1,250名に対して行いました。

さらに2010年1月11日の「不二家食品安全の日」を機に、一連の問題を風化させることなく、恒常的に「食の安全・安心」に取り組んでいくため、各事業所で部門長から部下に対して、過去の反省と食品企業に勤務する者としての心構えや役割について訓示しました。

また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めています。



泉佐野工場のコンプライアンス教育の様子



食品安全衛生管理本部 食品安全管理部 食品安全管理担当  
谷本 宗隆

お客様からの信頼を向上させるためには、従業員ひとりひとりの意識を向上させていくことが大切です。

私は従業員の意識改革の1つとして、食品衛生法などの関連法規の教育も行っています。これまでは関係部署のみが扱っていた知識を、全従業員に広めることで、法令を遵守する大切さを知ることにつながると思っています。

これらの教育を重ねることに、従業員の意識が少しずつ変化してきているのを、日々の業務の中で実感しています。

今後も、食を扱う企業に勤める者としての自覚を、従業員ひとりひとりが強めることができるよう、積極的に従業員教育に取り組みます。



# リスクマネジメント・セキュリティ

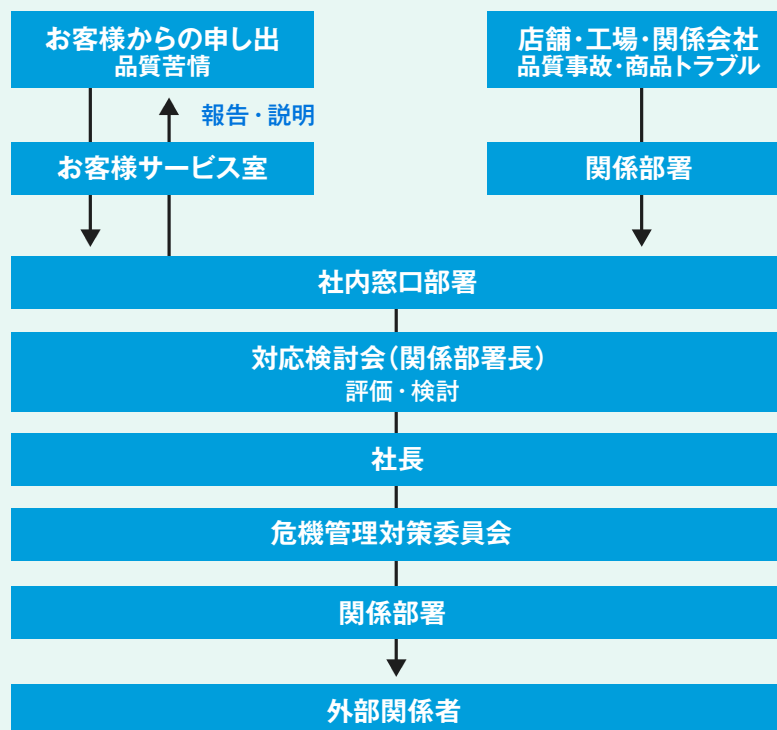
## ▶ リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全・安心」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB(American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害(環境) リスク」などに対して、事前にリスクを識別・分類・分析・評価、及び、対応を適切に行うための「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

<危機管理体制図>



## ▶ 情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定め、業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。



## 5S活動による人作り(生産現場管理者等研修)

近年、不二家においても団塊世代の大量退職や、派遣社員・パートナー社員など非正規社員の増加、新人の増加など、「人」の変化が生じています。経験の浅い若手従業員が現場をリードするためには、リーダーとしての心構えを持つこと、役割を認識すること、そして、問題や事象を科学的に分析し、解決する力を養うことが急務となっています。

不二家では、5S活動の一環として、生産現場における実践的な「人作り」に取り組んでいます。

具体的には、「現場作業者をマネジメントすることができる人材の育成」を目的とした、生産現場の管理・監督者向けの研修を行っています。

2009年度、埼玉工場と野木工場において8回ずつ実施した研修では、「人のマネジメント」に関する事例研究を行ったほか、企業競争力や問題解決力強化のための教育を行いました。

これまでは急激な生産数量の変動に対し、役職者(班長、係長)が直接作業に携わることで対応してきました。リーダーの役割研修を受けたことにより、ライン全体ひいては工場全体の状況を把握し、他部署と連携をとるなど、全体最適で解決策を考えられるようになりました。また、「今」起きている問題を、さまざまな手法を通して解決策を考える習慣がついてきています。



班長研修の様子



昼礼風景(作業進行状況の確認)



作業工程を確認

### VOICE

5S活動の一環であるリーダー研修に参加して一番変化したのは自分の意識です。「今のままではいけない」と気付くことができました。製品開発担当というどうしても新製品に目がいきがちですが、工場の既存品の工程トラブル、品質不良にも製造課と共同で取り組むようになりました。

係長、班長や仕込担当者と話し合いながら要因となる因子を特定・変更し結果につなげていくようにしています。

今後も5S活動を通して、品質の向上を目指していきたいと思っています。

製品開発部(野木工場駐在)課長 **平井 健幸**



生産現場管理者研修を受けるまでは、忙しい作業現場を見ると思わず手伝わってしまい、その間はライン全体を見ることができませんでした。そのため、どこかでトラブルが発生しても対応が遅れてしまうことがありました。

現場の監督者はリーダーとともに3K3Mに対する気付き力を高め、現場力を強化しなくてはなりません。現状を把握して、要因を分析する解決力を養い、さらに5Sの定着化に取り組んでまいります。

野木工場 製造2課係長 **早川 照雄**



# 3. 社会

- P18 お客様とともに
- P22 株主・投資家の皆様とともに
- P23 従業員とともに
- P27 不二家ファミリー文化研究所

不二家は、社会に開かれた透明性の高い企業でありたいと考え、社外の方々からのご意見を積極的に取り入れながら、「企業市民としての社会貢献活動」「事業活動の情報開示」などを行っています。

また、従業員間のコミュニケーションを大切にし、活気のある健全な職場の維持に努めています。



## お客様とともに

### ▶ お客様への情報発信

不二家ホームページではお客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全・安心な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

また、本年は「不二家創業100周年記念サイト」を新たに制作し、社長の櫻井からのトップメッセージやコラムの掲載、創業100周年のイベント案内など、不二家が行う100周年事業の情報発信を積極的に行っています。今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様窓口



不二家創業100周年記念サイト

### ▶ お客様からいただいた声

2009年度はお客様から約26,000件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、約19,000件のお問い合わせ・ご意見があり、約7,000件のご指摘事項がありました。

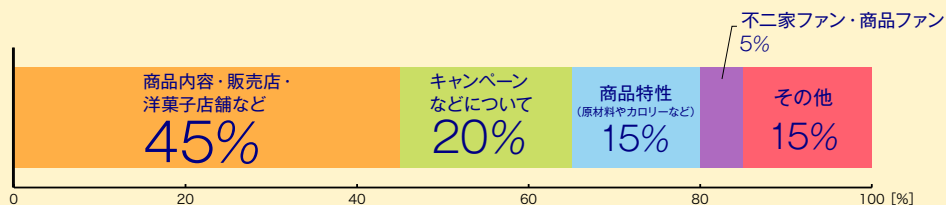
お問い合わせ・ご意見のうち、約15%が商品の原材料やカロリー、アレルギーなどについてであり、約45%が商品内容や販売店、洋菓子店舗の営業についてのお問い合わせに関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多い商品特性(カロリー・アレルギー情報)については、ホームページの商品情報で公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。また、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を載せています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ホームページ上では専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力していきます。

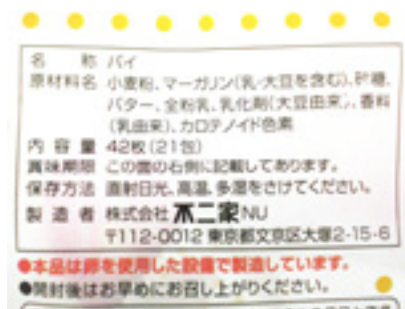
### お問い合わせの内訳



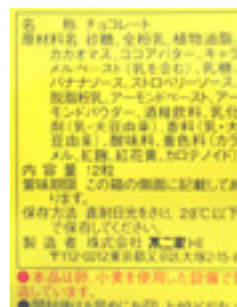
## ●表示の取り組み

### 〈食物アレルギーの表示〉

不二家では食物アレルギーをお持ちのお客様が商品の選択をしやすいように、原材料名の表示においてアレルギー物質を個別表示しています。また、原材料として使用していなくても、同じ設備で他の商品がそのアレルギー物質を使用している場合に、目立つ色で表示するなど、アレルギーについての情報がわかりやすく伝わるよう努めています。



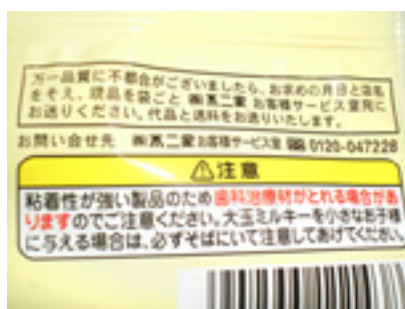
ホームパイの表示



ルック(ア・ラ・モード)の表示

### 〈注意喚起〉

お召し上げの際や、お子様に与える場合にご注意いただきたい点については、目立つように表示しています。



大玉ミルキーの表示



ポップキャンディーの表示

## ●お客様の声を商品に反映

お客様からいただいた貴重なご意見は、より良い商品を作るためにとても大切なものです。実際にいただいたご意見を商品作りに活かした事例をご紹介します。

### 〈お客様の声〉

ペコちゃんのほっぺやシュークリーム消費期限がパッケージの裏に表示してあるので、もっとわかりやすい場所にあるといいですね。

### 〈商品に反映〉

消費期限の印字位置を正面にして、見やすくしました。



ペコちゃんのほっぺ(改善後)

## ●お客様からのお問い合わせ例

お客様からいただいたお問い合わせの中から事例をご紹介します。

Q:「アンパンマン幼児用ビスケットは何歳ころから食べられますか?」

A: パッケージにも記載のとおり、生後7ヶ月くらいからお召し上がりになれますが、月齢は目安ですので、お子様の成長や、お子様のお召し上がる様子を見て、ご判断ください。

Q:「アンパンマングミのトレーの裏についている薄いフィルムのようなものは何ですか? 食べられますか?」

A: グミが包装フィルムにくっつくのを防ぐために、薄い半透明の膜状のオブラートを使用しています。オブラートはでんぷんから作られており、水に溶けやすく、食べられますが、お口の中にはりつくこともありますので、特にお子様がお召し上げの際にはご注意ください。



アンパンマングミ(グレープ)



## ▶ 親子工場見学の実施

不二家は工場見学を通じて、お客様に安全なお菓子を生産するための取り組みをご紹介します。

工場見学では、工場内の見学だけでなく、親子でケーキやお菓子作りを体験していただき、「食」についての興味や関心を高めていただくための取り組みも実施しています。

また、2009年4月には、北海道と九州において、各地域を拠点とする得意先様との共同企画で工場見学を実施しました。

このような工場見学を通じて、より多くのお客様に不二家の安全・安心への取り組みをご理解いただくとともに、参加された皆様の大切な思い出作りのお手伝いをしています。

### ●「春休み不二家洋菓子工場ご招待セール」(吉野ヶ里工場)

2009年4月2日。福岡県を営業基盤として、スーパーマーケットを展開されている株式会社ハローデイ様の創業50周年を記念して、不二家との共同企画「春休み不二家洋菓子工場ご招待セール」を実施しました。

この日は、抽選で選ばれた親子20組合計40名様を吉野ヶ里工場にご招待し、工場見学のほか、親子ケーキ作り教室を行いました。



工場内を見学している様子



ケーキ作り教室の様子

### ●「夏休み親子工場見学」(泉佐野工場)

2009年8月25日。お子様の夏休みを利用した「夏休み親子工場見学」を、泉佐野工場にて実施しました。

泉佐野工場初となる工場見学では、参加者を一般募集し、10組22名様の親子をご招待しました。

当日は、工場の概要説明や、工場で製造されている商品の製造ラインの見学、また、親子でお楽しみいただけるオリジナルケーキ作り体験教室や、工場で製造されているケーキのバイキングなどを行いました。



製造ラインを見学している様子



不二家のスタッフよりケーキ作りの説明をする様子

## 参加されたご家族のご意見・ご感想の一部をご紹介します

### ●保護者の方々

- ・工場内を見学し、工場内に入るまでに衛生面できちっとした対応や、温度などきめ細かい管理がされていて、消費者として安心した。
- ・今後もこのような場を設けて欲しい。
- ・工場内での説明が聞き取りづらかったので、2班ではなく、3班～4班くらいに分けて欲しかった。
- ・ケーキ作りは親切に教えてもらえて良かった。子供の夏休みの良い思い出になった。

### ●お子様

- ・ケーキ作りは思ったよりも難しくて、あんなにきれいに作るケーキ職人さんは、すごいと思った。
- ・ケーキを持って帰れたら良いのに。もったいないな。
- ・機械で全部作っていると思ったのに、人間の手を使ってやっていたことを知った。
- ・ケーキの作り方をあまり知らなかったので、上手なケーキの作り方を教えてもらって嬉しかった。自分で作ったケーキは美味しかった。





## ▶ お客様とのコミュニケーション活動

全国に展開する菓子メーカーとしての責任を果たすべく、地域社会やお客様に貢献できるさまざまな活動を行っています。

### ●「第61回全国植樹祭」への協賛

2010年5月23日。神奈川県南足柄市と秦野市で開催された「第61回全国植樹祭2010かながわ」に不二家も協賛し、社長の櫻井をはじめとする不二家従業員15名が参加しました。

この植樹祭は、毎年春に開催されている国土緑化運動の中心的な行事で、当日は、およそ8,200人が会場を訪れ、約9,000本の苗木が植樹されました。

会場の1つである秦野市には、不二家秦野工場があります。事前に行われたカウントダウンセレモニー（2009年10月10日開催）では、植樹祭のマスコットキャラクター「かなりんちゃん」をパッケージに採用した神奈川県限定発売商品「カントリーマアム（秦野八重桜）」を神奈川県に寄贈し、松沢神奈川県知事より感謝状をいただきました。



植樹の様子



感謝状贈呈の様子

### ●職場訪問の受け入れ

不二家では、全国の中学校や高校からのご要望にお応えし、職場訪問の受け入れを行っています。

2009年は、年間で32件を受け入れ、不二家の概要説明や商品企画のプロセスなどの説明をはじめ、ペコちゃんの歴史や、商品にまつわるエピソードを、スライドを使用しながらご説明しています。



スライドを使用しながら説明をする様子



学生からの質問に答える様子

# 株主・投資家の皆様とともに

## IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。

2008年11月にはホームページ「会社・IR情報」を大幅にリニューアル。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

### IR情報

#### ●ホームページ

<http://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>

IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



#### ●報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。



## 株主優待制度

年1回の権利確定日\*現在の株主様に対し3月中旬に発送する「定時株主総会召集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年12月31日。(平成22年6月25日開催の第115期定時株主総会決議により、事業年度が毎年1月1日から12月31日までに変更となりました。)

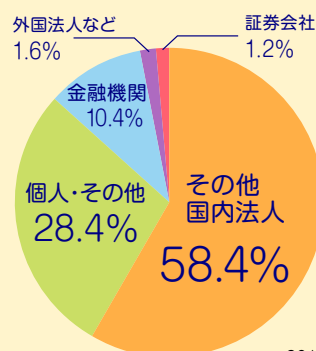


### 株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、不二家の洋菓子店・喫茶及び不二家レストランでご利用いただけます。

所有株式数	ご優待内容
1,000株から4,999株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
5,000株から9,999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
10,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

### 所有者別株式数



2010年3月31日現在

## 株主様アンケート実施

不二家は、株主総会に出席された株主の皆様にはアンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいています。

また、より多くの株主の皆様の声をお聞かせいただくために、インターネットを利用したアンケートの実施も行っています。(報告書発行から2ヵ月間)

総会の開催にあたっては、総会集中日を避けるなどの対応をし、一人でも多くの株主様にご出席いただけるよう配慮しています。

また、2010年6月25日に行われた定時株主総会会場では、昨年大ヒットした「ミルキークリームロール」のサンプリングを行うなど、株主総会を株主様の声を直接お伺いすることができる大切な機会と捉え、より多くの株主様にご満足いただける運営を目指しています。

## 従業員とともに

### 人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させる後押しのための仕組み作り」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じることで、そして、この従業員の「幸せ」が、商品・サービスを通してお客様に提供する「幸せ」にもつながってくると考えています。

人材の即戦力化が求められる中、不二家では新人教育を重視し、入社からの5年間にOJTはじめ、コース・職種・役割・資格別などに作成した教育プログラム、集合研修や自己啓発などのフォローアップ研修を行っています。



### 社内公募制度

不二家は個人のモチベーションアップや、組織の活性化などを目的とした人事制度を導入しています。

社内公募制度では人材の配置・異動にあたって、会社のニーズと社員の意思をマッチングさせ、組織の活性化と個人の能力発揮機会の拡大を目的としたものです。この制度では、募集部署が人材要件を公開し、社員が自らの意思で応募できるのが特徴です。

この制度の導入後、自身のキャリアアップを目指し、複数の社員が実際に異動しています。

### 不二家ビジネスカレッジ

不二家は、次世代を担うリーダーの育成を目的とするプログラムのひとつとして「不二家ビジネスカレッジ」を実施しています。

当プログラムは、「成果・結果＝能力×意欲×考え方」という考え方のもと、単なる知識の学習のみならず、組織人として成果・結果を出していくことのできる人材を育成し、今後の不二家のリーダーとなりうる人材の輩出を目指しています。

今後も、将来にわたる不二家の企業理念の実現を目指し、さまざまなプログラムに取り組んでいきます。



不二家ビジネスカレッジの様子



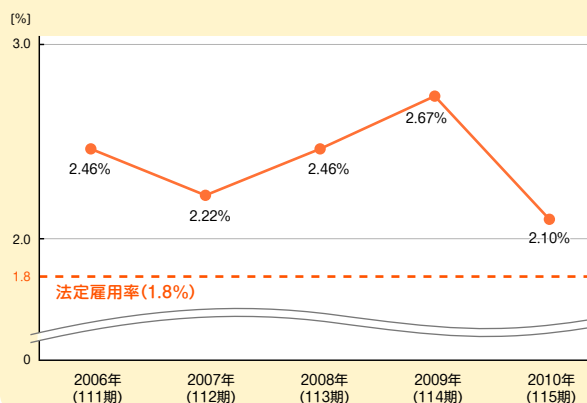
## ▶ 育児と介護を支援

不二家は育児や介護を行う従業員が、仕事と家庭を両立できるよう、育児・介護を支援する制度を設けています。不二家での2009年度育児休職者は10名でした。今後も制度利用を促進するために、さまざまな施策を講じていく方針です。

## ▶ 障がい者雇用

不二家は全国の工場や本部事務職を中心に、障がい者雇用率3%以上を目標として、雇用に取り組んでいます。2004年以降は法定雇用率(1.8%)を達成し、2010年3月末現在の障がい者雇用率は2.1%です。

### 障がい者雇用率表



### 障がい者雇用優良事業所表彰

不二家は障がい者雇用の促進と職業安定に貢献したことが認められ、優良事業所として厚生労働大臣表彰を受けました。



富士裾野工場 総務人事課 課長  
新谷 隼人

今年、富士裾野工場では新たに1名の障がい者を雇用いたしました。障がい者の方の働く姿勢から、ほかの従業員一同、仕事に取り組む意識について改めさせられることも多々あります。障がい者の方に働いていただくにあたって、職場の受け入れ体制や作業環境は、まだまだ充分とはいえませんが、少しずつ働ける環境を整えていきたいと考えています。

## ▶ 高齢者雇用

社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、豊富な経験と技術を持っている社員の活用を目指しています。

満60歳に達する社員のうち、再雇用を希望し、会社が提示する職務に合致した人を対象として再雇用する「再雇用制度」(60歳以降の再雇用)を導入しています。



## ▶ 労働安全衛生

不二家はすべてのお客様に、安全で安心な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、それぞれの事業所の全従業員が安心して働ける職場環境作りが不可欠だと考えます。

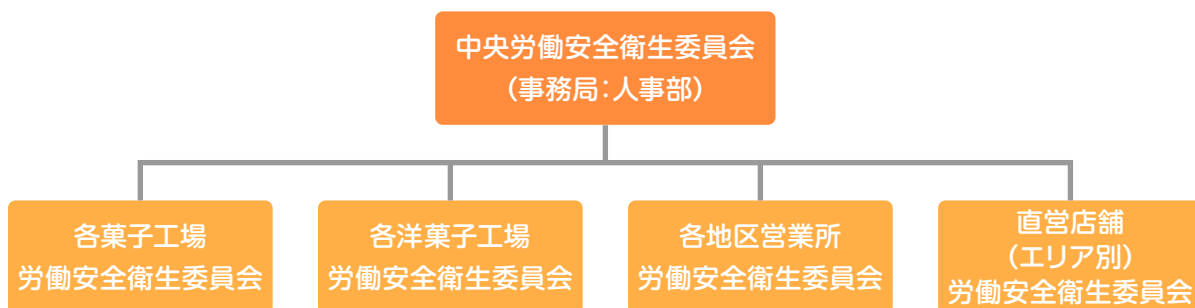
このために、労働災害の防止や、心身の健康維持増進に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全方針の策定や、安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と、全国の工場、営業所・支店、また、直営店舗(エリアごと)における「労働安全衛生委員会」を組織し、現場での問題への取り組みや、緊急連絡網の整備、また、災害発生時における迅速な対応をしています。

### 不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、  
社員の安全と健康の確保を第一とし、  
働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートなど臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。



埼玉工場 総務人事課 課長  
中村 智哉

製造工場においての目標は、お客様に安全な製品を提供し、安心してご購入いただくことだと考えています。

安全・安心な製品を生産するには『働きやすい職場の構築』が不可欠です。そのために必要なのは、職場の3K(キケン、キツイ、キタナイ)や、作業の3M(ムリ・ムラ・ムダ)を排除し、安全な職場を目指すことに他なりません。埼玉工場では、その第1歩として安全日誌記入や安全唱和の励行に積極的に取り組んでいます。『安全に終わりなし』を信条に地道な活動を実践しています。

## ▶ 労使協力関係

不二家は、管理職及び経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。

労使間では、健全な企業経営と企業の持続的な発展を目指し、以前より実施している「労使協議会」「経営協議会」に加え、「労使懇談会」(2009年6月より開催)を開催し、経営トップと組合幹部とが諸問題について忌憚のない意見交換を行う場を設けました。

これにより、経営上の課題の改善や、人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を行っています。

## ▶ 社内情報の共有

不二家は、横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!!」は、社内イントラネットに掲載し、社内情報の発信を行っています。

「WEEKLY Sweeeet!!」は社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週掲載しています。

新商品情報や、新店舗開店情報、工場やエリアごとの取り組みなど不二家グループ内のさまざまな情報を紹介し続け、掲載開始より、3年、現在135号(平成22年7月現在)を発行するに至っています。

年3回発行している社内報「Sweeeet!!」は「今の不二家を見る! 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報などバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



社内報 Sweeeet!!



WEEKLY Sweeeet !!

## ■ VOICE ■

「Sweeeet!!」に「WEEKLY Sweeeet !!」、いつも楽しみにしています。

電話でしか話したことがなかった人の活き活きとした写真を見る度、仕事場は違っていても一緒に仕事をしているのだなと実感しています。

また、他事業部といろいろな情報を共有することで、得意先との商談も弾みます。例えば、不二家洋菓子店で話題のミルククリームロールや、不二家レストランの100周年記念メニューなどの取り組みを伝えると、お客様から「不二家は頑張っているな。うちも何かやろうかな。」というお言葉をいただくなど、商談での話も弾みます。これからも不二家全体を見渡した臨場感のある記事を期待しています。

菓子事業本部 近畿中四国営業部 室田 佳祐



# 不二家ファミリー文化研究所

## 不二家ファミリー文化研究所とは

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家が、「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という思いから2003年4月に誕生しました。

不二家ファミリー文化研究所の所長は、研究所の創始者であり、現在は社長である櫻井が兼務しています。テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

食品を扱う私たちにとっていうまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして創業以来、「ファミリーの不二家」という企業理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

### ●活動内容

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報のご提供」などを行っています。

具体的な活動については、ホームページ「ペコちゃんの森」や、不二家ファミリー文化研究所が発行する小冊子にてご報告しています。季刊発行している小冊子は、全国の不二家洋菓子店舗、営業所、関連する工場や本社などに配布し、不二家ファミリー文化研究所の活動やホームページのご紹介、そのほか公募の告知などを行っています。

### ●ホームページ「ペコちゃんの森」をリニューアル

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ホームページ「ペコちゃんの森」(<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げ、2009年4月にはより見やすいサイトへとリニューアルを行いました。

ホームページ「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



## ホームページコンテンツ

### ●親子イベントなどの公募

“食育”“家族の絆”などをテーマにしたイベントや、参加募集の告知などを行っています。

### ●「食」に関するコラムの掲載

毎日新聞社発行の「毎日小学生新聞【食の歳時記】」に掲載している食文化にまつわる話や、季節の歳時に関するコラムを、イラストを交えながらご紹介しています。

### ●日本の風土や文化についてのご紹介

日本各地の風土や文化、現地の人々との温かい交流のエピソードを、毎月ご紹介しています。

### ●世界の文化についてのご紹介

日本にお住まいの外国人の方や、海外に滞在経験のある日本の方から、その国の食文化や生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについてインタビューをし、写真を交えてご紹介しています。

### ●アンケート調査の実施

「日本の季節と文化」をテーマにしたアンケート調査を実施し、調査結果を毎日イラストとともにご紹介しています。

また、過去に連載していたマンガで読めるアンケートレポートも掲載しています。



このほかにも、パソコンでご利用いただける「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告なども、随時ご紹介しています。



## ▶ イベント活動

不二家は、「食育」や「自然」をテーマにしたイベントの企画・実施や協賛などを積極的に行っています。親子のふれあいの場や、お客様と一緒に楽しく学ぶ場を、意欲的に設けています。

### ●めざせ!食育マイスター(春・夏)

食育活動の一環として、2006年より、毎日小学生新聞様(毎日新聞社発行)主催の「めざせ!食育マイスター」に不二家ファミリー文化研究所が協賛し、1年に2回(春休みと夏休み)イベントを行っています。

小学生を対象とした媒体である毎日小学生新聞様と不二家ファミリー文化研究所が企画から運営までを共同で行うこのイベントは、地域に密着したオリジナリティある内容になっています。

2010年3月に神奈川県小田原市にて行った「めざせ!食育マイスター～親子で楽しむスイーツ・かまぼこ作り」では、参加した30人の親子が果物の収穫や料理を通じて、食への興味を深める“学び”を体験しました。



めざせ!食育マイスター～親子で楽しむスイーツ・かまぼこ作り～  
(2010年3月)

### ●元町ハロウィン

「元町ハロウィン」は、横浜元町ショッピングストリートのお店のスタッフが、いろいろな仮装でお子様にお菓子を配る、手作り感あふれる地域イベントです。

ハロウィンを楽しみながらも、「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」をお子様たちに体験していただけるのが、このイベントの魅力の1つでもあります。

不二家はそんな、お菓子とお子様を「ありがとう」の言葉でつなぐこのイベントの主旨に共感し、2007年よりグッズやお菓子を提供するなどの協賛をしています。

また不二家にとって、横浜元町は、1910年(明治43年)に、初めて洋菓子店を開いた「発祥の地」です。そんな、横浜元町のイベントに、2009年もペコちゃんとポコちゃんがオリジナルハロウィン衣装で参加し、地域の方々との交流を深めました。



元町ハロウィン(2009年10月)

### ●銀座柳まつり

不二家にとってゆかりの地でもある「銀座」にちなんだこのイベントに、2008年より参加しています。

「銀座柳まつり」は、東京都のシンボルロードとして柳が植えられて整備された“西銀座通り”の完成を記念して、2006年より毎年5月5日(こどもの日)に開催されています。

5回目となった2010年のテーマは“笑顔”。

ペコちゃんは昨年に引き続き、人力車に乗ってパレードに参加し、会場を盛り上げました。



銀座柳まつり(2010年5月)



# 4. 環境

P29 環境方針／環境マネジメント  
P30 事業活動のマテリアルバランス  
P31 環境保全活動

省資源、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供しよう考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。



## 環境方針

### ●環境方針について

不二家は2000年に制定した「環境基本理念」「環境基本方針」を基本に、従業員ひとりひとりが不二家が果たすべき責任と役割を認識し、持続可能な社会を構築すべく「地球にやさしい企業」を目指して、積極的に環境活動に取り組み続けます。

### 〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健康と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

### 〈環境基本方針〉

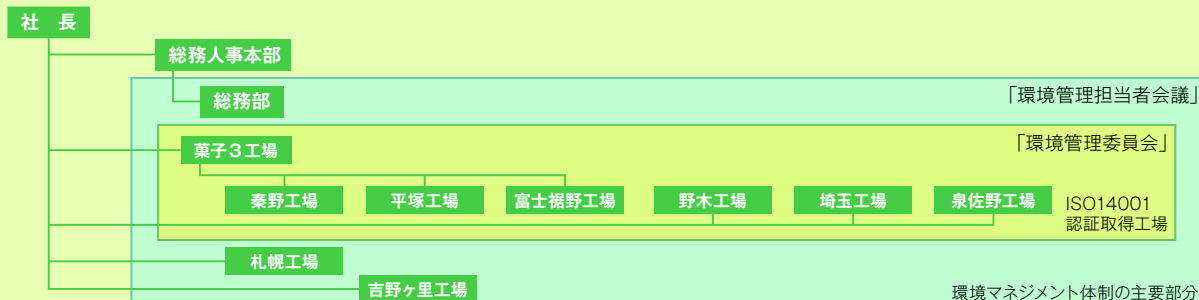
1. 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
2. 環境関連の法律、規制、協定などの遵守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実を図ります。
3. 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
4. 地域における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
5. 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

## 環境マネジメント

### ●環境マネジメント体制

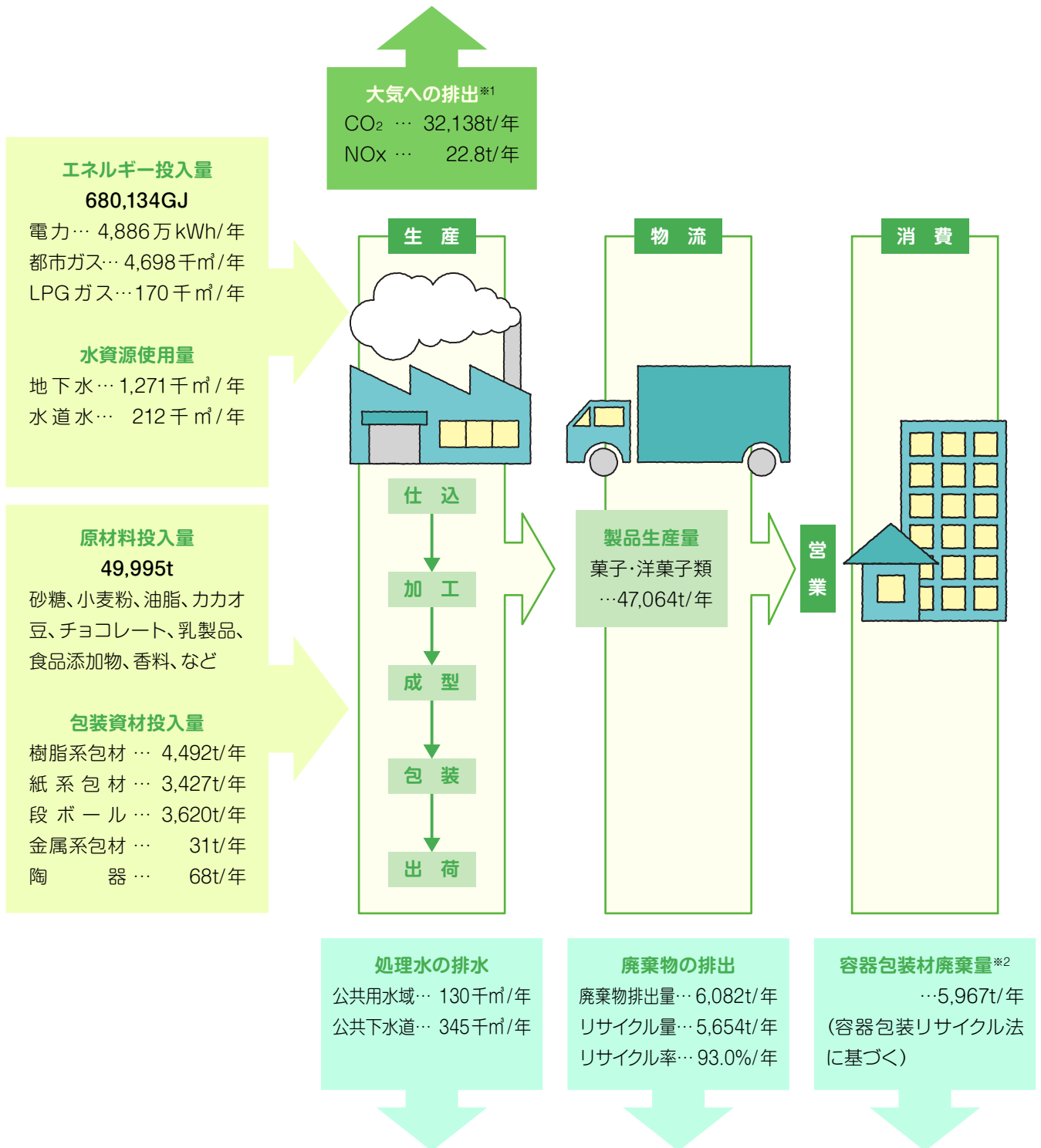
環境マネジメント体制の強化と迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、ISO14001認証取得工場では「環境管理委員会」を設置し、環境マネジメントシステムで設定した目的・目標達成のための取り組み状況とパフォーマンス達成状況や環境関連法規の遵守状況を毎月確認し、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の環境情報を共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的で開催し、環境マネジメントを推進しています。



# 事業活動のマテリアルバランス

2009年度製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のマテリアルバランスです。  
(2009年4月～2010年3月)



※1:投入されたエネルギーについてCO<sub>2</sub>を算出しています。

※2:容器包装材廃棄量は、不他家全体(食品を除く)の2008年度実績になります。

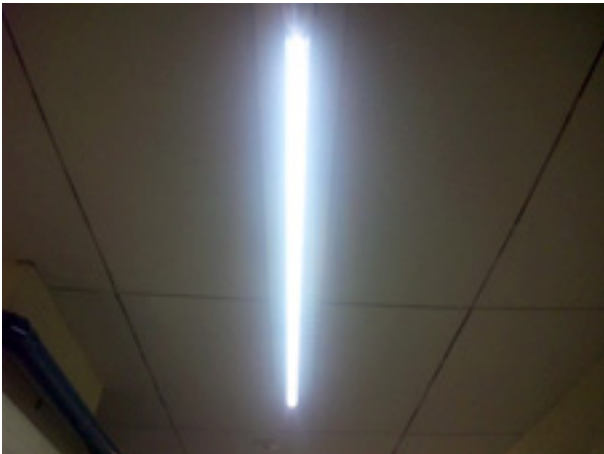
# 環境保全活動

## 地球温暖化防止への取り組み

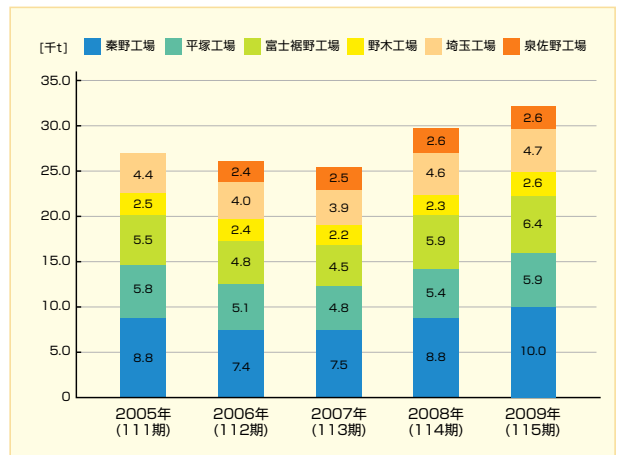
### CO<sub>2</sub>排出量削減対策

不二家では各事業所・工場のCO<sub>2</sub>の排出量削減対策として、環境負荷の低いエネルギー源の使用を積極的に進めています。秦野工場では、事務棟や工場外周街灯に、省エネルギー効果のあるLED照明を試験的に導入しました。

製造6工場におけるCO<sub>2</sub>排出量は、2008年度と比較して8.3%増加しましたが、各工場で施策を行ったことにより、環境負荷効率(生産量/CO<sub>2</sub>)が改善されました。



LED照明



CO<sub>2</sub> 排出量推移

## VOICE

省エネルギーの活動としてLED照明の試験導入を行いました。LED照明の長所は、消費電力が少なく長寿命で点滅に極めて強いことや、低電圧で作動するので漏電などの心配が少ないこと、効率がほぼ放電灯と同等であることなどが挙げられます。一方で、省エネルギー効果はありますが、LED照明は狭角では眩しくなり、周りが暗く、広角では光量が不足に感じました。LEDの特徴を活かし、用途で使い分けていくことが今後の課題だと思います。



秦野工場 工務課 柏木 勝也

富士裾野工場では、インフラ整備が進む中、設備更新時期に合わせて燃料転換を実施しました。その結果、CO<sub>2</sub>削減を効率的に実現したことが評価され、平成21年度食品産業CO<sub>2</sub>削減大賞(主催:株日本総合研究所 後援:農林水産省)において「優良賞」を受賞しました。



表彰式の様子

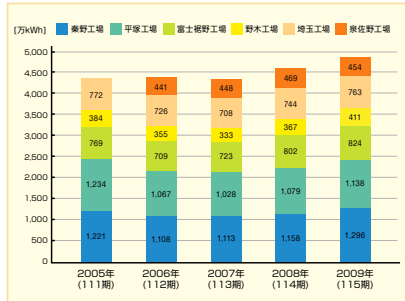


賞状

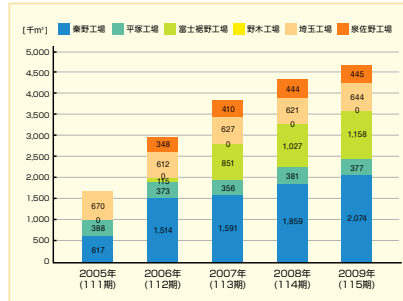
## ▶ 省資源・省エネルギーへの取り組み

### ● エネルギー源使用量の推移

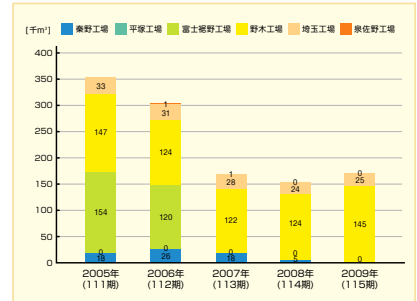
各事業所では順次、エネルギー効率の高い設備への更新を行ってきました。2010年度も、設備の整理統合や新技術の導入検討など、エネルギー使用量の削減に積極的に取り組みます。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPGガス使用量推移

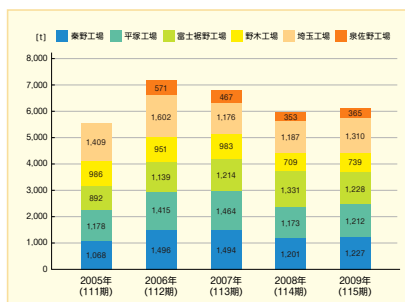
## ▶ 廃棄物の削減とリサイクルへの取り組み

不二家では、廃棄物の発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)・再資源化(リサイクル)に積極的に取り組んでいます。各工場では発生した廃棄物を種類ごとに分別し、リサイクルセンターに一時保管して適正な排出及び処理を行っています。

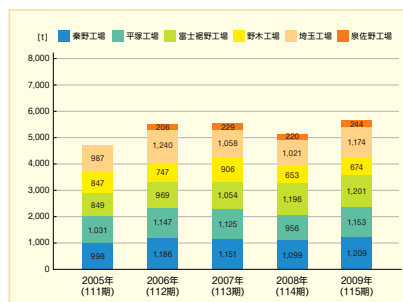
### ● 廃棄物の発生状況

製造6工場からの廃棄物の発生量は6,082 tでした。製造量が2008年度比で13.8%増となっているにもかかわらず、発生量は2.2%増に留まりました。また、リサイクル率は2008年度比で6.6%向上し、93.0%となりました。これは従業員への環境教育実施による分別管理の徹底や、廃棄物処理委託業者の継続的見直しを行った、動植物性残さ※のリサイクル率向上によるものです。

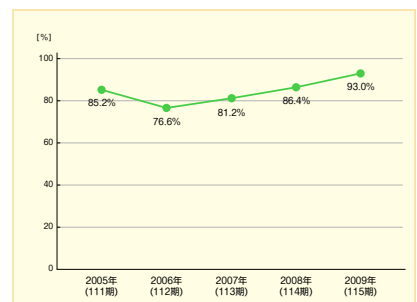
※ 動植物性残さ：食品製造業など特定の業種の製造工程から排出される固形状廃棄物で、原料として使用した動植物に関わる不要物。大部分は肥料・飼料として利用され、一部が焼却、埋め立て処分されます。



総廃棄物排出量推移



製造6工場のリサイクル量推移



製造6工場のリサイクル率推移



## ●食品廃棄物発生抑制(リデュース)の取り組み

洋菓子工場では、ケーキを製造する際に副産物として発生するスポンジの切り落とし部分を有効利用するため、商品開発に取り組んでいます。野木工場では、スポンジの切り落とし部分を原料としたケーキを開発・製品化しています。



ケーキ製造過程で切り落とし部分が発生



切り落とし部分を加工



素材の特徴を生かした新商品の開発



生産本部 製品開発部(野木工場駐在)  
佐藤 雅芳

これまでは、カット工程で発生するスコッチケーキや白板スポンジの切り落とし部分は、「飼料用の原料」として廃棄していました。しかし、最終製品と何ら変わらない品質の切り落とし部分をケーキ生地として、有効利用した商品を開発することで、食品廃棄物の発生量を抑制することができました。今後も、環境のことを配慮した商品作りに取り組んでいきたいと思ひます。

## ▶食品廃棄物リサイクルの取り組み

不二家の2009年度の食品リサイクル率は90.2%※となりました。

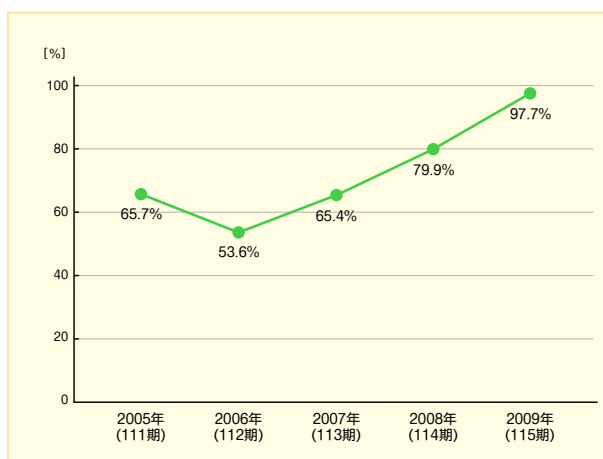
これは各店舗や製造工場より排出される動植物性残さなどの食品廃棄物や、製品廃棄物も含めた全社でのリサイクル率であり、排出される食品廃棄物の製品特性に合わせた処理委託先を積極的に導入したことにより、前年度と比較して5.5ポイント向上しました。

※ 食品リサイクル法に基づく、定期報告のリサイクル率です。

製造工場では廃棄物の発生抑制に努めていますが、菓子の製造過程で発生、排出される食品廃棄物は主に肥料や飼料などにリサイクルをしています。平塚工場及び富士裾野工場では、今までの食品廃棄物処理委託先ではリサイクル処理困難であった食品廃棄物を、適切に処理する委託先を選定したことにより食品リサイクル率100%を達成する月度もあり、2009年度の製造6工場の食品リサイクル率は97.7%となり、前年度と比較して17.8ポイントと大幅に向上しました。



食品廃棄物から作られた飼料



製造6工場の食品リサイクル率推移

## ▶ 各事業所における環境保全活動

### ● 社会貢献活動

不二家の各事業所では、地域社会との交流を図りながら、積極的に環境保全活動に参加し、企業としての社会的責任を果たしていきます。

### ● 秦野不法投棄防止キャンペーンへの参加

秦野工場では「秦野地区産業廃棄物対策協議会」主催の「秦野地区不法投棄防止キャンペーン」清掃活動に3回参加し、不法投棄撲滅活動に協力しました。



秦野中井 IC 周辺の清掃活動(秦野工場)

### ● 相模川河川敷清掃・植栽活動

平塚工場は今年度も「平塚地区環境対策協議会」主催の「相模川植栽及び清掃活動」に参加し、地域団体や小学生たちと交流を図りながら、清掃・植栽活動を行いました。また、「平塚市まちづくり事業部」と協力して自主的な清掃活動も2回行い、延べ56人が参加しました。



馬入ふれあい公園お花畑の美化活動(平塚工場)



地域住民との植栽活動(平塚工場)

## ■ VOICE ■

### 地域の方々と清掃・植栽活動を行って

私たちは、近隣小学校の児童とともに「馬入ふれあい公園」内のお花畑に、チューリップ4,200球を植栽しました。その後、全員で周辺のゴミ拾いをしました。晴天の中、小学生と一緒に広大な畑に、球根を植える作業は、有意義なひと時でした。私が、最初参加させていただいた頃は、荒地が多かったのですが、皆さんの協力と、努力によって河川敷が、四季折々の花でいっぱいになり、川がきれいになりました。

平塚工場 総務人事課 井上 美幸





## ▶ トラスト活動

### ● 黒姫「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付をしました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場(議長 倉本 聡氏、副議長 C.W.ニコル氏)」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻してきました。今後も定期的に不要な木を伐採して地面に日光を導き、フナやドングリをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって森の自然にどのような変化が生ずるのかを観察するのも森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化をしている「ペコちゃんの森」の様子をホームページ内にて定期的にご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っていきます。

### ● 従業員による森林整備活動の実施

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議様のご協力のもと、「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2009年は6月と11月の2回整備活動を実施し、社内の有志約25名とともに、「刈り払い作業(=樹木の成長を妨げる雑草を切り払う作業)」を行いました。変化していく森の様子を肌で感じながら、森林整備の大切さ、健康な森作りについての知識を高め、これからも整備活動を続けていきます。



2009年6月の様子



2009年11月の様子

「ペコちゃんの森」森林整備活動報告2009  
<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/forest/clean/>

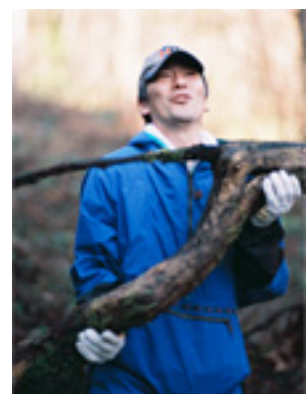
## ■ VOICE ■

### 森林整備活動(2009年11月実施) 参加者の感想

今回が2回目の整備活動参加になります。整備内容は次回以降の活動の下準備ということで、刈り払いだけでなく不要とされる雑木の伐採や木の根っこを除去する整地作業も行なわれ、伐採作業のフォローや初参加の人達とのコミュニケーションを楽しみました。

1回目の参加時は整備活動に無我夢中で、気持ちの余裕がなく周りも見えていませんでしたが、今回参加して新たに感じ思ったのは、作業時は無心・憩い時は無音であるということです。これは普段、時間に追われながら都会で生活している時には味わえない貴重な実感です。

全体の作業が終わる頃には高原特有の夕霧も出始め、冬の足音が近づいて来るのを感じました。そして、来春からの活動を楽しく想像しながら、落ち葉が敷きつめられた森を後にしました。



総務人事本部 総務部 馬渡 弘也

## 不二家のあゆみ

不二家は、1910年(明治43年)、横浜元町に「不二家洋菓子店」を創業して以来、時代に先駆けた数々の新しい事業にチャレンジしてきました。それは、日本に洋菓子(お菓子)を中心とした新しい食文化、食シーンの提案をし続けた歴史でもあります。

これからも不二家は、企業の果たすべき社会的責任において、お菓子を中心とした本来の事業活動を通じて、「社会・環境との調和」を目指し、社会活動、環境問題への取り組みを積極的に進めていきます。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売を始める
1922年	フランス風ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルキー発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコ発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売 ホームパイ発売 埼玉工場(埼玉県新座市)・秦野工場(神奈川県秦野市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリー マッキントッシュ社と技術援助契約を締結
1973年	キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、 アイスクリームチェーンに着手
1976年	米国ペプシコ社と合弁会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は解消)
1978年	株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年	米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコ発売





## 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1982年		仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店 フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6 10	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現ネスレ日本株式会社) 株式会社ダロワイヨジャパン設立
1990年	6 -	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成 アンパンマン商品発売
1992年	-	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6 11	「ペコちゃんのほっぺ」発売 九州工場(佐賀県神埼郡)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ホームページ開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2 5 9 11 12	「環境宣言」の制定 / ISO14001 認証取得の取り組み開始 容器包装リサイクル法に対処 ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却 埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換 富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3 4 8	カフェテリアプラン制度導入 富士裾野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4 10 11 12	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止 「不二家 行動規範と行動指針」の制定 野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3 4 4 6 7 7 8 9 10 11	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化 野木工場 ISO14001 認証取得 不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という) 大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止 コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス推進規程制定 環境報告書を初めて発行 ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始 「環境宣言」の改訂 埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始 ファミ文研 「水土里の体験展」協賛開始
2004年	2 2 6 10	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立 埼玉工場 電力高圧トランスをアモルファスタイプへ更新 秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足 埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7 7 12	個人情報保護基本規程制定 ISO9001 認証取得の取り組み開始 秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化
2006年	1 3 3 4 4 6	「品質方針」の制定 泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止 ファミ文研 「めざせ!食育マイスター」イベント協賛開始 定年退職者再雇用制度開始 泉佐野工場 ISO14001:2004 構築・運用開始 ISO9001 認証取得 (菓子事業本部(営業部、マーケティングG、SCMG、事業管理G、研究開発G、湘南工場)、品質保証部、調達部)



## 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	8	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼動開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	10	ファミ文研 ホームページ上で「食の歳時記」連載開始
2007年	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB 食品安全システム導入
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	「品質方針」の改訂
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	4	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
5	ISO9001 認証一時保留/ISO9001 認証一時停止	
6	「環境宣言」の改訂	
6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置/内部統制システム構築着手	
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
7	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止	
7	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
8	コンプライアンス推進規程改訂	
9	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	ISO9001 認証一時停止解除	
11	ベーカリーカフェの新業態、「맘즈カフェ」開店(船橋)	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部) [広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典実施
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO <sub>2</sub> 排出枠(2007年度分) 300tを償却 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	9	三井アウトレットパーク仙台港に「Peko Store」「FUJIYA PARLOR」開店
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場)実施
11	ケーキ in チョコ「スイーツトルテ」発売	
11	山崎製パンと新たな資本業務提携を締結(山崎製パンの子会社となる)	
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典実施
	2	埼玉工場「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	2	B-R サーティワンアイスクリーム株式会社とのコラボレーション商品「ルック(31 アラモード)」発売
	2	不二家洋菓子チェーン店で「生ミルク」発売
	3	野木工場「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	3	地域限定カントリーマアム「カントリーマアム(北海道ミルク)・(九州紫芋)」2品発売
5	不二家洋菓子チェーン店でキッコーマン株式会社とのコラボレーション商品「しょうゆスイーツ」2品発売	
5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成	
6	「大玉ミルク」発売	



## 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2009年	6	平塚工場操業50周年記念式典実施
	8	平塚工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	8	カントリーマアムブランドに新コンセプトの「カントリーマアムクリスピー」登場
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24～9/6)
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける
	10	不二家洋菓子チェーン店で「ミルクークリームロール」を発売
2010年	1	第3回「不二家食品安全の日」式典実施
	1	平塚工場が食品リサイクル率100%を達成
	2	「第61回全国植樹祭2010かながわ」に協賛し「カントリーマアム秦野八重桜」を発売(神奈川県限定)
	2	富士裾野工場が「食品産業CO <sub>2</sub> 削減大賞」(主催:株日本総合研究所 後援:農林水産省)優良賞を受賞
	3	大丸松坂屋×不二家100周年コラボレーション企画「ペコちゃんギャラリー」開催
	4	洋菓子店新業態「ミルクーカーニバル大丸京都店」開店
	4	「本物の5S活動発表大会」開催
	4	埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理有料施設として確認票交付
	5	宮崎県口蹄疫被害支援物資として、みやぎJA経済連にカントリーマアム、ミルクィー、ホームパイを寄贈





**株式会社 不二家**

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6  
ホームページ <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 CSR推進部  
Eメールの場合：不二家ホームページ内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の  
無断転載・複製を禁じます。